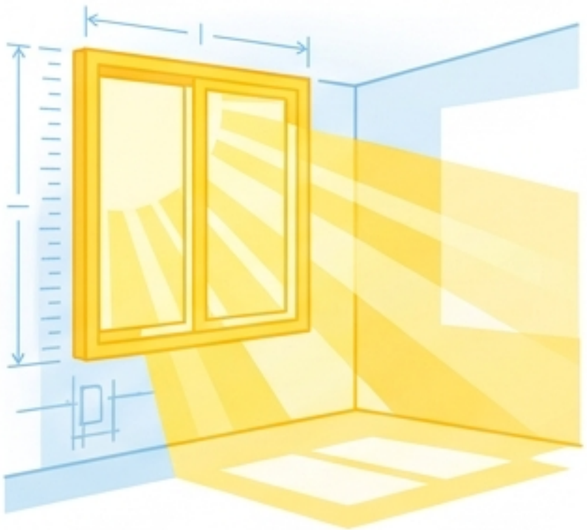
建築基準法施行令等の改正ポイント

令和8年11月施行：施設設計の自由度を高める規制の合理化

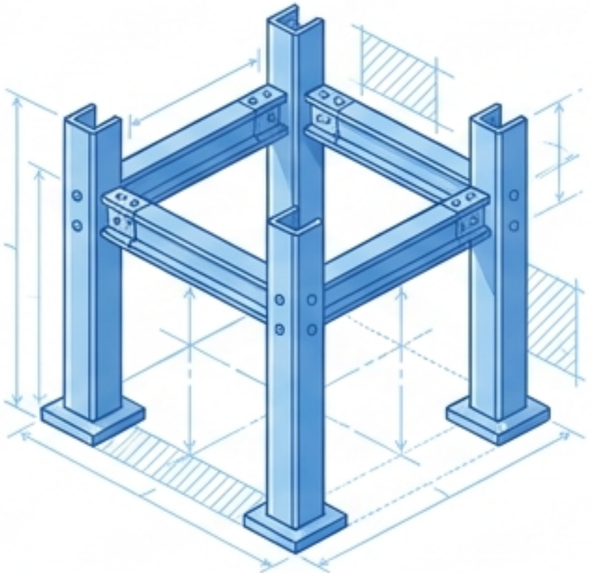


Gemini Notebook

今回の改正における4つの柱



・【居室】
採光規制の
対象外の
合理化



・【構造】
型式適合
認定の
類型の追加



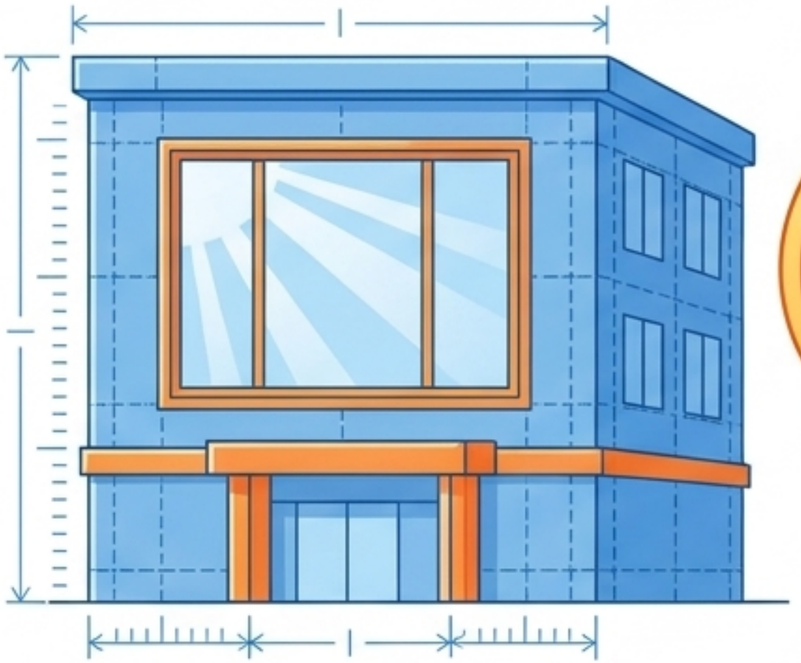
・【安全】
防火・避難に
関する規制
の合理化



・【環境】
危険物の
総量規制の
合理化

Gemini Notebook

1. 採光規制の合理化（老人デイサービスセンター）





常時





日中のみ
短時間

対象：	老人デイサービスセンター（第一号通所事業）
理由：	利用者の滞在時間が短いため、衛生上の支障がないと判断
結果：	厳しい「採光基準」の対象外となり、設計の自由度が大幅に向上

Gemini Notebook

手続きの流れと注意点



事業者からの求め



福祉部局による指定見込みの通知書等発行

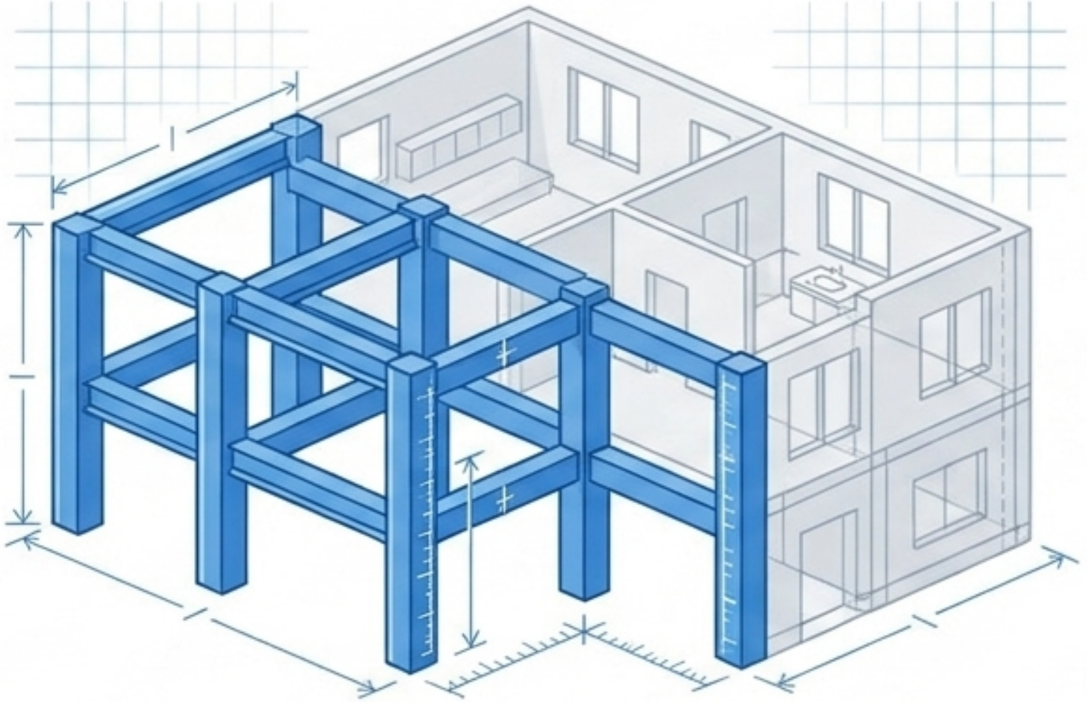


建築確認申請への添付

注意：採光規制は対象外となっても、利用者の安全確保のため「防火・避難規定」は引き続き適用されます。（児童福祉施設等としての扱い）

Gemini Notebook

2. 構造に関する「型式適合認定」の追加

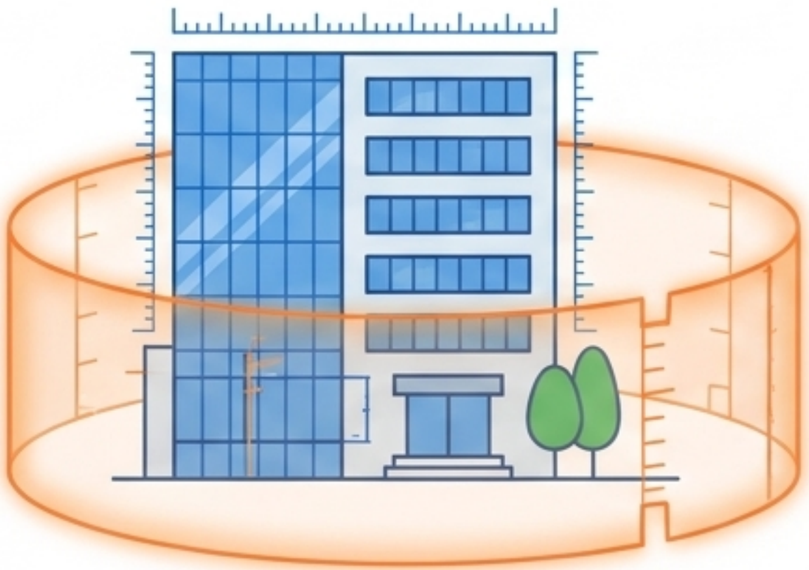


課題：	建築資材の調達が困難になり、設計変更が生じるケースがある
改正後：	「構造耐力」のみに特化した新しい認定類型を新設
効果：	構造以外の部材（内装や設備など）の変更に対して、より柔軟かつ迅速な対応が可能に

Gemini Notebook

3＆4. 防火・避難および危険物規制の合理化

防火・避難



一定の規模・用途の準延焼防止建築物において、
面積区画や竪穴区画などの規制を緩和。

危険物総量



安全基準を満たしたガス燃料設備等であれば、
指定用途地域での貯蔵上限を超えた設置が可能に。

Gemini Notebook

柔軟な施設づくりが可能になります



施設の利用実態（滞在時間）を考慮した規制緩和にり、実態に即した自由な空間設計が実現します。

新たな認定枠組みにより、資材調達の課題にも柔軟に対応できる環境が整いました。

Gemini Notebook